

排水処理の効率化を問う！

秋田 茂議員

○下水の処理を取り巻く諸問題について

質問 ①公共下水道事業の進捗状況と新規加入者の推移は順調に推移しているか。

②農業集落排水事業の評価と今後の維持管理や事業の方向性について拡大する考えはあるか。あるいは現状のままの運営で良いと考えているか。③公共下水道事業や農業集落排水事業に取り組んでいない地域には合併浄化槽の普及等を含めどのような対応をしているか。④生活雑排水が農地の排水溝に垂れ流されている場合土地改良区などと連携した取り組みがなされているか。⑤江連都市下水路の今後の見通しと周辺排水溝との連結についてどのような考えを持っているか。(再質問) 昨年夏に集中豪雨があったことは記憶に新しいが、その後被害状況の重要度の評価に基づく改良計画がたてられているか。

積に対する供用開始面積で北海道中央が63・1%石下地区が54・7%内守谷が100%。今年10月現在で2900世帯が加入している。②現在5地区で供用開始している。今後事業を拡大する予定はない。現在の施設老朽化で改修等必要な場合は受益者にも応分の負担をいただくと考える。③農業を含め下水道計画区域外では費用対効果の面からも合併浄化槽で対応すべき地域を拡大するよう考える。④問題等が発生した場合は土地改良区と連絡調整をするが連携した取り組みはない。⑤この事業は周辺流域の浸水被害を防止するため下妻市と共同で行っているもので江連都市下水路に接続している周辺の排水溝の水量も考慮して計画している。



大雨被害

(再質問) 中妻駅前道路の冠水等については市と県一体となって事業を推進しており、県の分は終了し、市の分も今年度中には完成する。



石下総合福祉センター

業務の分割を求める！

吉田栄一議員

○支所機能の充実について

質問 合併後四年近く経過した現在、幾つかの機能が本庁対応となり、旧石下町民が不便を強いられている。効率化を追求するとサービスの低下は避けられない。合併時と比較すると水道業務や都市建設課、総合福祉センターの保険係がこの3年間で本庁業務となり、これまで気軽に行けた健康相談もできなくなった。①健康診断の申し込み等を石下総合福祉センターで出来ないか。②今後の対応について

て市の取り組みを尋ねる。 答弁(保健福祉部長) ①石下支所保健福祉課保健係が行っていた石下地区の検診等の業務については現在健康推進課に統合され、その申込みについては基本的に電話での予約を実施している。その周知については全戸配布している年間予定表や広報でお知らせしている。また医療機関検診の受診券やインフルエンザ所在地外接種券の交付等については保健福祉課窓口で対応しているほか即日対応できない申請については確認のうえ後日郵送等で対応しているが専門的な相談等については保健推進課に直接電話で問い合わせいただき対応している。今後については新石下支所開庁に向けての組織機構の再編の中で市民サービスの更なる向上を図っていく予定。

(企画総務部長) ②現在組織機構の見直しを行っている。平成22年度開庁に向けて建設を進めている石下

庁舎については、庁舎の規模に制約があるがまず第一に市民サービスを考え転出入に伴う住民異動処理や市税収納・税証明に関すること。児童生徒の転出入に関すること等を処理する総合窓口を設置したいと考えている。また総合窓口以外にも行政課題に迅速に対応できるように独立した組織を配置したい。

〈その他の質問事項〉

○耕作放棄地の対策について

○朝夕の交通渋滞対策について

○通学路における障害物対策について

○狭隘道路の解消について